

## 鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	令和元年度第1回鳥羽市地域公共交通会議全体会
開催日時	令和2年1月7日(火) 10:00~11:30
開催場所	鳥羽市民文化会館 3階 中会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 (1) 事業評価について【資料1-1、1-2、1-3】 3. 報告事項 (1) 高齢者向けかもめバス時刻表(案)について【資料2】 4. その他
会議資料	事項書 席次表(表面)、委員名簿(裏面) 【資料1】 事業評価(本省様式1-1かもめバス、1-2定期船、1-3計画推進) 【資料2】 高齢者向けかもめバス時刻表(案)
公開・非公開の別	公
傍聴人の数	3人(三重交通2名、企画財政課1名)
出席委員	立花会長、加藤委員、三村委員、中垣内委員、中村委員、小寺広次委員、鈴木委員、天野委員、松林委員、宮崎委員、角屋委員、西本委員、今井委員、山下定宏委員、中根委員、下田委員代理 大津氏、清水委員代理 岩佐氏、木下委員、西川委員、濱口委員、小久保委員、小寺兵吾委員、池田委員、矢田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	岩本委員、小崎委員、山下浩委員
事務局	定期船課 世古、野呂、寺本
<p><b>1. あいさつ</b></p> <p>○事務局長 ・開会、配布資料の確認、出欠報告</p> <p>○会長挨拶 本日の会議は、中部運輸局に提出する令和元年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価及び高齢者向けかもめバス時刻表(案)についてご討議いただきたい。なお、令和2年度については、平成29年度に策定した鳥羽市地域公共交通網形成計画を見直し、新たに策定する予定となっているので、皆様方のご協力をお願いします。</p> <p><b>2. 協議事項</b></p> <p><b>(1) 事業評価について</b></p> <p>○事務局 資料1-1かもめバス、1-2定期船、1-3計画推進について説明。</p> <p>○委員 資料1-1については、目標数値が地域公共交通確保維持改善事業計画に記載している数値と異なっているように思われるので確認していただきたい。</p> <p>○事務局 確認します。</p> <p>○委員 資料1-3については、補助金に対する事業報告様式なので、計画推進事業の補助金を受けたのは昨年度であることから今回は提出不要だが、事業実施と生活交通確保維持改善計画の関連についてという様式が不足しているので、こちらを提出していただきたい。</p> <p>○事務局 確認し、必要な物については提出します。</p>	

○会長

委員の皆さんには、その部分は郵送等で確認してもらおうということになりますか。

○事務局

後日、郵送やメール等で送付させていただくので、確認をお願いします。

○委員

まず、この様式に書かれている目標や達成状況は、網形成計画を踏まえているということを明記してほしい。不足している様式の方にも、網形成計画に基づき、こういう事業をやっているということを書いてほしい。また、一般的には一部路線のみが補助対象となっているのが大半であるため、鳥羽市のかもめバスは全路線が補助対象となっているということ、どこかに書いておくことも必要だと思う。

○事務局

分かりました。

○委員

前回の評価結果を受けて、高齢化が進む団地住民の交通不便解消のため安楽島苑団地前バス停を設置したということだが、実際の利用状況はどうか。

○事務局

今年度に運行開始したバス停なので、年間集計はまだ出ていません。

○委員

月集計はどうか。

○事務局

現時点での月集計などはまだありません。年間分をまとめて集計する予定です。

○委員

観光のことをメインに書かれているが、今後の改善点の部分に市民向けのこととして、路線のあり方やダイヤ編成を行っていくということも書かれている。具体的な方針等について検討を始めていますか。

○事務局

三重交通さんの協力で、29、30年度分のバス停別年間乗降客数の集計をいただいたので、それをもとに今月ぐらいから課内での検討を始めていきたいと考えている。数値化したことで、利用の多いバス停と、ほとんど利用のないバス停が見えてきたので、次年度のダイヤ編成などの参考にしたい。

○委員

鳥羽高校生との連携についてかなり大きく書かれているが、どういった成果があったのかが少しイメージしづらい部分があるので、詳しく教えてください。

○事務局

公共交通の利用促進について考える懇談会を開催しており、そのメンバーに鳥羽高校「とぼっこくらぶ」の顧問の先生が参加していることから、鳥羽高校生に公共交通を利用した観光プランを作成してもらっている。石神さんを中心に相差地区を回り、バスで行くことで色々とお得な特典が付くというようなプランを高校生の発想で考えてもらった。春休みぐらいまでの完成を目指して取り組んでいる。インスタグラムでの情報発信というのは、フィールドワークの様子などをとぼっこくらぶインスタグラムで発信してくれたため、そのことを表記させていただいた。

○委員

そうするとインスタグラムでの情報発信というのは、こういうことに取り組んでいますという途中経過ということでよろしいですか。

○事務局

はい。完成したものをアップしたのではなく、こういうことをやっているという予告編のようなものになる。もちろん完成後は、他の媒体でもPRしていく。バスセンターにラックを設置し、できれば観光案内所さんにも置いてもらって、観光客に手に取ってもらい、バスに乗って行くと特典が付くなど、色々楽しいことがあると思ってもらえればという風にイメージしている。それが完成したら、次は離島プランも考えてくれることになっている。10月の懇談会でプランの大筋は決まったが、11月に観光甲子園にとぼっこくらぶさんが出場するため多忙だったこともあり、現在取組みを進めているところです。

○委員

観光甲子園について説明してください。

○事務局

クラブ活動の一環として、自分達が企画した観光プランを、全国の高校生達と競う大会です。

○委員

こういう活動をしているという下地があったから、協力してくれているのですね。

○事務局

はい。とばっこくらぶさんに依頼させていただき、一緒に協力しながら取り組んでいる。相差町内会さんにも協力をいただいている。

○会長

もうすぐ成果が出るということですね。

○事務局

2月中には完成し、春休みの旅行客向けに案内できるよう進めている。

○委員

市内観光でレンタカーを利用する人が増えているとのことだが、具体的な数字は把握していますか。

○事務局

具体的には把握していないが、最近は昔と違い3時間や6時間など短時間の貸し出しが可能になってきているので、利用される方が増えている傾向にあると感じている。

○委員

聞き取りなどはしていませんか。

○事務局

連休期間中に少し聞き取りしたところ、1日あたり70台ぐらいの利用があったと聞いている。

○委員

タクシーがないので、レンタカーの利用が増えているのかなと思う。

○事務局

お得なパックもあって、かなり使いやすくなっているのだと思う。

○委員

できるだけバスに乗ってもらうような取り組みをやっていった方がいい。

○事務局

タクシーの話が出たので現状を説明すると、昨年に鳥羽からタクシー事業者が1社撤退したが、その後新しい事業者が参加してくれた。残った他の事業者についても、台数を増やすなどの対応をしてくれている。1社撤退したことで、鳥羽市と三重運輸支局さんとで連携をしながら、引き続き対応を行っているので、その点についてはご理解いただきたい。

○委員

新企画切符の件について、これはもうすでに完成して売ったということですか。

○事務局

3月限定かもめバス周遊券のことです。実績として1,053枚売れている。懇談会で出た案を反映させていただいている。

○委員

その切符が売れたということは、バスを利用した方が増えたということですよ。そうすると、レンタカーやタクシーを使わず観光した人の増加に繋がったということが言えそうだが、手ごたえとしてはどうですか。

○事務局

何らかのアクションを起こすことで、実際に数字も増えることが分かったので、今後も活動していくことが大事だと思っている。お金をかけなくてもできることがあるので、少しずつでも取り組みたい。

○委員

実際に3月の総利用者数が前年と比べて増えたのかどうか。単に限定周遊券で乗る方がいいからという理由だけで周遊券の販売のみが増加したのなら、効果があったとは言えない部分がある。また、リバウンドとして3月は良かったが4月には元に戻っていないか。観光客が将来的にリピートするかが大事なので、こういう企画をやる時は、次回も使いたいかどうかというアンケートをやって、情報を得ることが大事。ただ安くして売っただけだと、将来的に利用を増やせるのかという部分が分からない。

○事務局

確かに2月よりは増えたが、3月の総利用者数は前年より減っているので、分析が必要だと思う。

○委員

例えば、「鳥羽 バス」「石神さん バス」と検索したら、周遊券の情報が一発で出てくるようにしないとイケない。時刻表と一緒に網形成計画が検索結果に上がってきたりするので、誰をターゲットにしているのか分からない。鳥羽市のホームページは観光情報と行政情報を分けていますか。

○会長

分けている。来年度にホームページの刷新をしたいと考えている。

○委員

観光情報を見たら、すぐ周遊券情報が出てくると分かりやすい。また、鳥羽バスセンターで周遊券を買う時に、周遊券の存在をこの場で知ったのかを調べるのも面白い。ホームページとかで事前に知っていたら、より買う気になるのなら、もっと宣伝した方がいい。1日かけて、購入者に聞くことをやった方がいいと思う。本当は周遊券1枚で何ヵ所に行ったのかも知りたい。周遊券の単価を下げても、鳥羽の色々な観光地を周って、鳥羽のいい所を知ってもらえば、そういう人はリピートしてくれる可能性が高い。そういうことは観光協会さんと一緒に調べないとイケない。それを今後の改善点に書くとよい。

○委員

観光案内所で周遊券の説明をする際も、帰りの電車の時間があり、とにかくお客さんに時間がない。もっと色々行ってほしいという思いで説明しているが、どうすれば周遊券を活用し、長い時間を鳥羽で過ごしてくれるのか悩んでいる。3月限定周遊券は、お絵かき水族館に行ってもらいたいのが前提にあったと思うが、その他にも色々な所に行けるメリットがあったのに、実際はあまり活用されなかったという実感もある。周遊券を作ればいいのではなく、もう少しその辺を考えないとイケないと思う。

○委員

ここが重要なポイントだと思う。事前に周遊券の存在を知らないと、鳥羽に来た時点ではすでに予定を組んでいるので、現地で周遊券を知ってもほぼ手遅れということだと思う。まわりゃんせなどは、それさえ買っておけば主要な所はどこでも行けることが事前に分かっている。鳥羽の場合も、周遊券さえ買っておけば公共交通で色々な観光地に行けることが分かっていたら、最初からそういう行程を組んできてくれる可能性がある。さらに離島の周遊券もあるため、離島も含めて色々回れるとなると、他の観光地とちょっと違うと思ってもらえる。鳥羽のような所は全国でもあまりないと思う。

○会長

日本人の観光は慌ただしくて、のんびり観光する傾向があまりないように感じる。ただ、だんだんのんびりした観光にシフトしていく方向に持っていければと思うし、鳥羽には多様性があり、何気ない景色が非常にきれいといった点を活かすには、周遊券などを活用することが大事だと思う。そのためには、周遊券があることを知ってもらうためのツールが必要なので、継続して取り組むべきだと思う。今後はシニアなどの時間に余裕がある世代が来てくれるような環境を整えることも大事だと思う。

○委員

加藤先生が昨年も言われたことだと思うが、石神さんに行こうとして検索すると、不便であるという情報しか出てこない現状なので、検索すればバスの経路がすぐに出てくるようにしないとダメだということだったと思う。なかなかその辺が実現できていないのではないかな。

○会長

まだ、次年度の当初予算は確定していないが、ホームページのリニューアルについては検討している。観光情報については、観光協会と重複している部分についても整理していければと思っている。モバイルの方で、情報がすぐ検索できるよう充実するということも工夫していきたい。

○委員

インターネットで三重県内の自治体や三重交通のバスを、どれだけ検索可能かリスティングしているホームページがあるが、鳥羽市が一番少なく、それだけ県内でも遅れている。観光で公共交通を使う地域として、致命的である。度会や最近急速に整備した南伊勢は、どのような検索も可能。外国人は日本語のエキスパートやナビタイムは分からないのでgoogleで検索するが、鳥羽のように結果が空白だと、外国人を全くターゲットにしていないことになる。予算的な部分もあると思うが、考えないとイケない。ここ2、3年で、他の自治体も急速に対応し始めている。

○事務局

以前にご指摘いただいた点を踏まえ、次年度の予算で経費を要求させてもらっています。

○委員

それは、県がやっている GTFS-JP 化の事業でやっていかれるということですか。

○事務局

そちらに申込みをさせていただいている。予算がつけば、来年度から google 対応等を進めていきたい。

○委員

その事業について、三重県内では来年度の予算要求をしているところが 7 市町ある。予算が通れば、来年には 11 市町が google 対応できるよう進めているので、徐々に広がっていると思う。

○委員

石神さんについては、ダイヤの組み換えなどで難しい部分もあると思うが、1 日 1 本だけでも直通で行けるバスを出して、石神さんを検索したら直通のバスがあるとすることは可能ですか。

○事務局

年間 20 万人ぐらいが石神さんを参拝しているが、観光バスで来る方も増えている。市民も利用するバスなので、費用対効果も含めて考えると、石神さんのためだけに直通バスを出すと、すぐには言い難い。

○会長

さきほど国への提出が不要な様式の話が出たが、修正点なども含めて、どのように提出しますか。

○事務局

三重運輸支局に確認した時は、計画推進の方についても提出が必要であるとのことでした。

○委員

計画推進の様式を出すか出さないかは別として、ここでの議論に繋がっているわけだから、作ること自体には意味がある。ただ、別添 2 の様式がないのはいけないので作成してください。

○事務局

分かりました。

○委員

離島航路については、定期船の周遊券の目標も網形成計画にあるが、これは達成できているのかを確認したい。島民の方とそれ以外の方の利用割合について、島民は絶対に利用するとしても、人口自体が減っているので自然減は避けられないので、島民人口あたり何回利用しているという視点で見たいといけないういけない。島民と外から来る方の利用とは分けて議論する必要があるが、それができるのかどうかを考えてほしい。それと、先日送ったテレビ番組についての情報は見てもらいましたか。

○事務局

タレントが離島に行けるとあって、中之郷の駅からフェリー乗り場に行ったという内容でした。

○委員

そういう人は多いと思う。知らずに全然違う場所に行ってしまう、船に乗り遅れるのは致命的なので、きちんと対応しないとイケない。市営航路であるがゆえに、外への PR が難しいかもしれないが、鳥羽の航路については専用サイトを作ってプロモーションした方がいい。まずマリナーミナルに来てもらうことが大事だが、わざわざ足を運んでもらうには、イベントをやるとか、何かを仕掛けることも必要だと思う。予算的なことがあるので、来年に何をやるか今は書けないと思うが、何をやるか検討することをスケジュールに入れてほしい。大事なものは、今日は時間がないが、次回あの島へ行ってみたいと思ってもらったり、欧米系の外国人のようにノープランで来たら、面白そうなものがあつたということ。生活航路なのであまり観光化してもいけないが、マリナーミナルで離島ミニギャラリーみたいなことができるといい。せっかく魅力があるのだから、どうやってアピールできるかを考えないとイケない。

○委員

オリンピックのことが書かれているが、鳥羽での聖火リレーが 4 月 8 日に迫っているので、受入体制について地元の 3 町内会で考えている。それに対して、担当の生涯学習課スポーツ振興係からは何のコンタクトもない。鳥羽市以外からもどれぐらいの人が見物に来るのか分からないが、これは 1 つの大きなチャンスだと思っている。答志島以外の離島も含め、聖火リレーを見に来た方々に、鳥羽の離島の魅力を発信する重要なチャンスだと思うので、そのあたりをどのように政策で活かしていくのかを早急に考えてほしい。

また、答志島の個人医院が3月いっぱいまで閉院となる。高齢者は桃取の市立診療所まで通院しなければならないが、交通手段がない。福祉バスのような形の公共交通システムを立ち上げていただけるのか、またトヨタ財団がやっているような電気自動車を島内で試験的に導入できるか検討していただきたいと思う。それらの実現には時間がかかると思うので、その間、本土側の病院に通院することになると思う。市から年に数枚分の切符は支給されているが、高齢者の財政的な負担についても考えていただきたい。

なお、答志の若い方は桃取航路を使ったり、車で和具まで行き、和具から乗って和具で降りるというパターンが増えている。答志栈橋で降りる人数を調べていると、日中は1、2人のこともある。答志から和具へ行く燃料費が無駄になっているとも言えるので、そのあたりも改善が必要だと思う。

○会長

大きな問題なので、検討はしているがここで回答することは難しい。医院の閉院についても最終的な結論を聞いたのは最近のことなので、具体的な対応策についてはまだというのが現状。1つの契機として、新しい方策について考えていければと思っている。

○委員

さきほどマリナーミナルの話が出たが、島の魅力発信についてマリナーミナルに行かないとPRビデオが見られない。パンフレットについても毎年工夫されたものがたくさん出ているが、実際に各離島の面白さがまだ発信できていないように思う。答志は魚がおいしく、景色がいい所であるが、別の観点では、考古学が好きな人にとってとても興味深い島であると言える。色んな切り口があるので、離島のPRにもっと本腰を入れていただくとありがたいと思う。

○委員

離島内の移動手段については、実証実験を先行してやっているところがいっぱいある。ただそれは、立ち上げ時に補助があるだけなので、離島だけでそれを継続していくのは難しい。補助があるうちではできたが、補助がなくなった途端廃れたというのではだめなので、保守的かもしれないが、今後法改正もあることなので、地域でできることをやり、それを市が支援するというでもいいと思う。

また、色んな港に立ち寄るがゆえに、ピストンだったらもっと便数が増やせるのにできないというのは、全国的に見られる問題である。昔は最寄の港まで来てもらうことにこだわりがあったと思うが、今は港から車で移動できることが大事という時代になってきたので、島内の交通機関を整備することが必要になる。ほどほどに援助を受けて立ち上げた後、自分達でそのシステムを回していけるのであれば、何かいい方策がないか考えていきたいと思う。

特に自動運転車を1台走らせようと思うと、運転手を数十人雇えるぐらいの経費がかかるので、地域の課題解決が目的なら、それに見合った方策と航路の見直しを一体として考えていけばいい。電動で最高速度19キロというグリーンスローモビリティは、緑ナンバーが付けられるようになり、自家用有償旅客運送でも使えるようになった。立ち上げの補助は充実しているし、電気代も安く狭い道も走れるので、離島に向いている。ただ、答志～和具間ならいいと思うが、桃取までとなると遠すぎる。

○委員

それが頻繁に行き来すれば、日中は和具止めでいいと思う。その燃料代を他に使える。

○会長

燃料代以上に、色々と経費がかかるのではないかと思います。

○委員

グリーンスローモビリティの場合は購入補助があり、電気代は非常に安い。担い手の問題があるので、それについては島民の皆さんにやってもらわないといけない。離島には通常タクシーがないので、自家用有償旅客運送で問題ない。日間賀島などがやっている。

○委員

漁師の若い奥さんなどの、子育てを終えた後の働き口になるという考えはある。

○委員

今度の法改正では、自家用有償旅客運送についての円滑化が行われる見込みなので、それを活用するといいい。グリーンスローモビリティを補助で導入し、今年の秋頃の法改正で制度面をカバーすればいいと思う。通常は地域公共交通会議で自家用有償旅客運送について議論するため、鳥羽市の地域公共交通会議の要綱で議論できるようになっていけば、ここで決められる。大事なのは、航路と島内の交通をどうやって変えていくかということ。

○会長

問題は医院の閉院が3月なので、時間がないということですね。早急にできることと、将来的にできることの両方から考えていきたい。皆さんから、たくさんの貴重な意見をいただいたので、修正のうえ、足りない部分を加えたものを再度皆さんに送らせていただいた後、事業評価を中部運輸局に提出することをご承認いただける方は挙手をお願いします。(挙手全員) ご承認、ありがとうございました。

### 3. 報告事項

#### (1) 高齢者向けかもめバス時刻表(案)について

○事務局

資料2について説明。

○委員

字が大きくなったと説明があったが、従来のものより小さくなっている。

○委員

従来のもので、あまり変わらないように思う。

○委員

時刻表を縦長にした理由は何ですか。そうしたことで空白部分が増えて、スペースが活かされていないように思える。

○事務局

下に追って見ていく感じで作成しました。

○委員

下か横かはどちらでもいいが、数字が横書きなのにマスが縦長なので、一マスの上下の空白部分が多くなって、無駄なスペースがあるのに字が大きくできないのはどうなのか。これならむしろ、横長にしないと字が大きくできない。敢えてやるなら平日を上、土日祝を下にすればできるかもしれない。あと、高齢者向けの時刻表に石神さんとかの写真が必要なのかどうか。どの停留所に最寄りの病院があるかなどの情報が載っている方が分かりやすいのではないか。

○会長

もう一度、デザインを再考するということでよろしいですか。

○事務局

はい、再考します。

○委員

高齢者向けということだが、配布はどのように行うのですか。

○事務局

全戸配布することは考えていない。警察で免許証の自主返納をされた方や、健康福祉課のいきいきお出かけ券の対象の方などに配布することを考えている。

○委員

市内全部の老人会にこちらから配るのではなく、ほしいと言ってくれたところにお渡しするという感じでなら、老人会にも配布できますか。

○事務局

はい。

○委員

4月1日にかもめバスのダイヤ改正はあるのですか。

○事務局

近鉄のダイヤ改正があるという情報は入っているが、具体的な内容までは分からない。電車との接続の関係で、かもめバスのダイヤを改正する可能性はある。

○委員

改正があったら、高齢者以外の方も時刻表が欲しいですね。

○事務局

その場合は現在の時刻表を改定し、高齢者用時刻表とは別に配布する。

#### 4. その他

##### ○委員

タクシーの営業所が撤退し、タクシーが不足しているという話が出たが、運送事業のドライバー不足は全国的な問題となっており、地方においてはそれが顕著に現れている。鳥羽でも、観光客が夜に食事をした後、ホテルに戻るためのタクシーがつかまらない状況があることを聞いている。そういう状況を解決するために、鳥羽市、商工会議所、三重運輸支局とで話をしているところです。現時点で具体策があるわけではないが、今後、公共交通会議の場でも対策について議論する機会もあろうかと思う。住民の方で、夜間にタクシーがなくて不便だという状況はありますか。

##### ○委員

あります。名古屋から最終に乗って、11時半頃に鳥羽の駅に着いてもタクシーがない。迎えに来てもらえる人はいいが、私は安楽島まで歩いて帰る。

##### ○委員

何かいい方法について、鳥羽市さんと話し合っている状況ですので、聞かせていただきました。

#### 5. 閉会

##### ○立花会長

令和元年度第1回鳥羽市地域公共交通会議全体会の議事については全て終了しました。これにて、第1回鳥羽市地域公共交通会議全体会を終了させていただきます。